



「令和8年度群馬県建設事業協同組合の交通並びに作業安全祈願祭」そして新年度の始めに当たり、一言ご挨拶申し上げます。安全祈願が滞りなく終了しました。令和7年度の事業が無事終了できましたこと、県下一円の作業に携わった皆さんのおかげと心から感謝申し上げます。これから、この1年、「どんな小さな事故も起こさない」という強い信念のもと、日々の作業の管理をしっかりと行っていくことを改めてお願いいたします。

今年は、事業協同組合の事業執行に直接影響する設計労務単価の改正について、簡単に説明しておこうと思います。今年も平均4.5%の引き上げとなりました。昨年の6%台に比較して伸び率は減少となりましたが、14年連続で引き上げとなったことの意義は大きなものがあります。調査結果はマイナスの状況だったといわれていますが、最初の提示額が1.3%、真夏日などの不稼働日を組み込んで計算することによって4%超え、四捨五入して5%になったとも言われております。昨年12月の建設業法改正も設計労務単価を基準に考えられたものであり、キャリアアップ制度のレベル別年収も同じことが言えます。設計労務単価の引き上げ率の根拠に敏感にならざるを得ないということです。

事業協同組合の特色は直接事業に参加できるところが大きな特徴であります。組合としてのメリットを生かしながら効率よい事業を展開していくことが大事です。全国に数多く建設関連の事業協同組合がありますが、ここ群馬の事業協同組合は他県の組合にとって先進事例として参考にする組合に成長しつつあります。組合としての組織を活性化させていくためには、少しずつ組織に変化を与えていくことが大事です。組合独自のホームページを立ち上げて3年目、今年は全面的にバージョンアップしていこうと思っています。物価高と実質事業量の関係で難しい局面になっていますが、社会全体で「賃上げ」の動きが出てきていること受け、今年も組合としても正面から受け止めた対応をしていこうと思っています。

新年度に当たり、どんな小さな事故も起こさないということを確認しあう安全祈願祭も行われました。今年は、清掃班並びにパトロール班と管理部門で11名の方が昇格されました。今年は新事務所に向けた建設工事も始まり、働く人たち全員で気持ち良く働ける環境づくりに大きく踏み出しています。令和8年度、毎日の小さなことから改善を積み上げ、しっかりとした成果を出されることをお願いして理事長のあいさつに代えます。よろしくお願いいたします。

令和8年4月1日

群馬県建設事業協同組合
理事長 青柳 剛